

2024 ISE COLLECTION

世界に発信！ 伊勢市短詩型文学祭

入賞作品目録



伊勢市の観光 PR キャラクター
はなてらすちゃん

応募作品数(計 1,988 点)

短歌 小学生の部(210 点)・中学生の部(198 点)

俳句 小学生の部(1,315 点)・中学生の部(265 点)

<発行:令和6年11月>

伊勢市情報戦略局 文化政策課 (伊勢市岩渕1-7-29)

TEL:0596-22-7885 FAX:0596-21-0424

E-mail: bunka@city.ise.mie.jp

【主催】伊勢市

【後援】伊勢市教育委員会

【助成】公益財団法人 岡田文化財団

キーワード（上位）

●総 合

順位	キーワード	数
1	伊勢うどん	249
2	伊勢	138
3	宮川花火大会・花火等	134
4	伊勢神宮・神宮	130
5	赤福・赤福氷等	118
6	五十鈴川	116
7	宮川	104
8	夫婦岩	68
9	高柳の夜店等	65
10	朝熊山等	52

◎小学生部門（短歌・俳句）

順位	キーワード	数
1	伊勢うどん	221
2	宮川花火大会等	112
3	伊勢	105
4	赤福・赤福氷等	102
5	五十鈴川	92
5	伊勢神宮・神宮	92
7	宮川	62
8	高柳の夜店等	57
9	夫婦岩	54
10	横輪川	39

◎中学生部門（短歌・俳句）

順位	キーワード	数
1	宮川	42
2	伊勢神宮・神宮等	38
3	伊勢	33
4	伊勢うどん	28
5	五十鈴川	24
6	宮川花火大会等	22
7	赤福・赤福氷等	16
8	夫婦岩	14
8	高柳の夜店等	14
10	伊勢まつり	12

その他

○文化財

伊勢音頭
かんこ踊り
オヤネザクラ

○場所

勢田川
二見
天空のポスト

○食べ物

朝熊の小菜
蓮台寺柿
てこね寿司

俳句・小学生の部 入賞作品

市長賞

御 蘭 小 5 年 御 村 涼 華

芯強し竜の形の臥竜梅

【講評】御蘭町の臥竜梅公園に咲く梅の花です。その樹形は、枝が横に伸び、竜が寝そべっている姿に似ています。その昔、無実の罪で九州の大宰府へ左遷された菅原道真の冤罪（えんざい）がはれることを、伊勢神宮に祈って植樹されたと伝わります。芯の強かつたであろう道真に、臥竜梅の強さを重ね合わせています。季語は「臥竜梅」で春です。

教育長賞

浜 郷 小 6 年 大 西 咲 希

白かべや風鈴ゆらぐ商人館

【講評】伊勢河崎商人館は、江戸時代より伊勢の台所（だいどこ）として、伊勢の人々の生活をまかなった河崎にあります。老舗の酒屋・問屋・小川酒店（こがわかて）を修復整備して、伊勢の歴史・文化の交流拠点となっています。商人館の白かべに風鈴の音が涼やかにひびいています。季語は「風鈴」で夏です。

伊藤園賞

小 俣 小 3 年 南 佳 那

まんかいのジングウツツジあまいかぜ

【講評】ジングウツツジは、神宮神域の神路山（かみじやま）、島路山（しまじやま）で見つかり、その名が付けられました。令和四年に「伊勢市の花」に制定されました。紅紫色がよく目立つ花は、朝熊山の登山道でもよく見られますが、満開のジングウツツジの花をゆらして届けられる風は心地よい香りがします。季語は「ミヤマツツジ」で春です。

奨励賞

修 道 小 3 年 小 林 航 大

伊勢たくあんばりばりひびく冬の味

奨励賞

修 道 小 5 年 高 阪 美 羽

五十鈴川満月うかぶ水の中

奨励賞

早 修 小 5 年 山 本 壮 汰

ばくの家イソヒヨドリがいそうろう

奨励賞

明 倫 小 6 年 酒 徳 陸 人

頂上へとんぼと競争朝熊山

奨励賞

宮 山 小 6 年 野 呂 彩 葉

しんしんと雪ふる夜は伊勢うどん

俳句・中学生の部 入賞作品

市長賞

小 俣 中 1 年 向 井 心 春

天空のポストで送る花便り

【講評】天空のポストは、伊勢と鳥羽をむすぶ伊勢志摩スカイラインの展望台に設置されています。昔懐かし丸型の赤いポストです。近くの鳥羽売店では、「一空飛ぶほうき」を借りたことができました。桜の展望台からの景色は、伊勢湾や鳥羽から送られた便りは、絶景です。朝熊山や金剛寺の桜の望みよりでしよ色は、天空のポストから送られた便りは、きつと喜ばれたことでしょう。季語は「花便り」で春です。

教育長賞

小 俣 中 3 年 小 林 泰 大

罌堂の願いを胸に初日の出

【講評】尾崎行雄（罌堂）は、明治から昭和にかけて活躍した政治家、文部大臣、東京市長、司法大臣などを務め、憲政の神様と呼ばれました。平和主義を唱え、戦争に反対したことも知られます。このように罌堂の願いを思い起こしながら、初日を拝む作者の尾崎罌堂は、実に尊いものです。季語は「初日の出」で新年です。

伊藤園賞

伊 勢 宮 川 中 1 年 小 椋 紗 友 季

暑い夏影を求めて伊勢の世古

【講評】伊勢には世古と呼ばれる路地が百三十ほどあつたそうです。現在、名前の付いた石標が建てられて世古など、世古は十二あり、世古、暑師（おんし）、世古なら影が多い（えぼし）など、影を探して世古へ入りました。炎天下をのがれて少しは暑さをしのげたでしょう。あるいは、伊勢の歴史や文化を肌で感じたかも知れませんね。

奨励賞

倉 田 山 中 3 年 橋 本 悠 佑

伊勢参り巡りて後のかき氷

奨励賞

小 俣 中 1 年 安 城 太 智

戦争の想いに耽る花火かな

奨励賞

御 蘭 中 3 年 山 下 稀 良

夏空に御蘭音頭の響く音

奨励賞

伊 勢 宮 川 中 3 年 森 謙 心

横輪川清き流れは風鈴のよう

奨励賞

皇 學 館 中 2 年 中 村 芽 生

桜散り花びら浮かぶ五十鈴川

（敬称略）

短歌・小学生の部 入賞作品

市長賞

厚生小 2年 藤本 まひろ

みや川のさくら見上げる母の横
とおくをはしるでん車見つめる

【講評】桜の名所である宮川を母親と訪れた光景。ふと視線を移すと遠くを走る電車が見えた。桜と電車の対比から春ののどかな光景が浮かんできます。

教育長賞

進修小 1年 松田 桃真

かっこいいこともきやりのおねえちゃん
いすずがわからエンヤーエンヤ

【講評】五十鈴川の川曳きの様子。子どもたちの威勢の良いかけ声が聞こえる。まだ小さな自分は参加できない。伝統を守る「おねえちゃん」の姿への憧れが感じられます。

伊藤園賞

有緝小 4年 奥野 優貴

宇治橋を、作った祖父が、天国で、世界の人の、幸せ祈る

【講評】宇治橋を渡りながら祖父の事を思い出している。宇治橋の造営に携わった祖父は世界の人の幸せを祈りながら作業をしたのでしょうか。作者は生前の祖父から話を聞きながら育ってきたのでしょうか。

奨励賞

中島小 3年 小椋 詩音莉

横輪川きれいなはたるみいつけたピカピカまんまる星くずみたい

奨励賞

宮山小 5年 相場 奏乃

お花見にバーベキューに水遊びいつもそばには宮川がある

奨励賞

上野小 3年 岡山 朔久

夏休みかんこおどりにはっさんか兄のせ中をおいかけおどる

奨励賞

上野小 6年 岡山 莉久

はら貝と音頭に合わせて舞う火の粉かんこ踊りはお金の供養

奨励賞

明野小 6年 中西 来斗

さめのたれ兄の好物食べてみるばくには少し背のびした味

短歌・中学生の部 入賞作品

市長賞

倉田山中 2年 山本 桃香

まだ青いトマトのようだと思いつつ
濃抜き手伝う蓮台寺柿

【講評】蓮台寺柿の濃抜き作業を手伝っている光景。「青いトマト」というのは作者自身の姿に重ねて見ているのかもしれませんが。自分自身の将来に思いを馳せているようです。

教育長賞

倉田山中 3年 濱井 桃花

ホームランこれで同点もう一点大仏山で一勝あげよう

【講評】野球の試合の光景。この一勝のためにチームメイトと苦しい練習を重ねてきた。仲間間で勝ち取る一勝の重み、一勝を上げるための思い。様々な気持ちが伝わってきます。

伊藤園賞

小俣中 1年 中井 優杏

あと少し目指す頂上朝熊山汗をぬぐう手庇にかわる

【講評】朝熊山の頂上を目指して登る。ふと見上げると頂上は目の前に見える。足を止めて流れる汗をぬぐう時にその手が庇（ひさし）になつて自分をまぶしさから守ってくれた。さわやかな初夏の光景が目に見えられます。

奨励賞

倉田山中 2年 田村 みな

参道に往き交う人々笑い声宇治橋渡れば玉砂利の音

奨励賞

小俣中 1年 脇岡 遼

ゆらゆらと満月映す五十鈴川ただせせらぎと月の明かりと

奨励賞

伊勢宮川中 1年 岡部 真

炎天下ひたすら待つて縁台で一年ぶりの赤福氷

奨励賞

伊勢宮川中 3年 阿部 くるみ

秋の日に稲穂を運ぶ奉曳車集う木遣り子采振り唄う

奨励賞

伊勢宮川中 3年 谷口 絢音

祖母が出す小さな皿に蓮台寺昔なつかしい甘い柿の味